令和7年度　学校評価報告書

学校番号(小57) 長崎市立(鳴見台小)学校

1　教育目標

「自ら学び、心豊かで、健やかな子ども」の育成

2　学校経営方針

【鳴見台小学校のミッション】
　すべては 子どもたちの『未来の笑顔』のために
　　「２０年後を生き抜く」土台となる力（資質・能力）を育む

3　重点目標

（1）笑顔いっぱいの学校づくり
　①子どもたちの力を高める学習指導の充実
　②いじめの未然防止と早期発見、早期対応
　③自信とやる気につながる指導の実践
（2）互いに助け合い、高め会う職員づくり
　①超過勤務月８０時間以上、年間５４０時間以上「０」
　②組織対応による共通理解・共通実践
　③相談しやすい、風通しのよい職場

4　自己評価

領域	項目	質問内容	アンケート結果（肯定的割合・%） 児童生徒	保護者	教職員	分析及び改善策
学校経営	教育目標	教育目標を達成している	95%	92%	83%	学校教育目標達成に向けて実践してきたことに対し、保護者の理解は得られている。児童の評価は昨年度より大きく上昇している。教職員の評価では、学校の雰囲気・校務分掌について、大きく評価が上昇している。教育業務支援員・学校サポーター・校内別室登校支援員・大学生ボランティアの採用、行事や会議の縮減等、子どもと向き合う時間を確保するために行ったことが実を結んでいると思われる。
	学校の雰囲気	明るく楽しい雰囲気である	97%	94%	97%	
	組織運営	校務分掌は責任体制が明確で、適切に機能している			90%	
	業務の改善	校務の縮減・効率化等、業務の改善を推進している			75%	
心の教育	生活・生徒指導	ルールやマナーを身に付けている	90%	84%	52%	教職員がルールやマナー、人権意識を守れていないと厳しく評価している。バスの乗車マナーや言葉遣い等、日常生活に即した生活指導、基本的生活習慣の定着指導の徹底を行わなければならない。今年度も豊洋台地区のバスの乗り方などは、何度も繰り返し指導しているが、根気強く今後も行っていきたい。保護者や児童からの悩みや相談については、迅速に、的確に、組織的に担任、管理職共によく対応している。生活アンケートも毎月実施し、把握しようと努力しているが、それ以外にも、日々の観察に努め、気になる様子があれば、積極的に対応していく必要がある。特別支援教育については、組織的に対応し、個に応じた支援を行ってきた。今後もより個に応じた指導を行っていきたい。
		挨拶をよくしている	88%	75%	69%	
		「あ・は・は運動」を知っている（小学校のみ）	88%	71%	86%	
		教職員は悩みや相談に親身に対応している	94%	84%	97%	
	いじめ防止対策	学校はいじめ防止のための対策をとっている	94%	74%	100%	
	人権教育	生命や人権を尊重しようとする心が育っている	97%	85%	90%	
	平和教育	平和の大切さを感じ、その思いを発信しようとしている	98%	91%	66%	
	特別支援教育	学校は教育的ニーズに応じた教育を行っている	98%	84%	93%	
確かな学力	特色ある学校づくり	伝統や校風、地域の実態に即した教育を行っている	99%	92%	93%	特色ある学校の教育活動として「はばたき農園活動」では、今年度、経験豊富な教員、保護者や地域の方々の協力により、充実した「はばたき農園活動」ができ、地域からも好評であった。学習指導については、保護者は授業改善が推進されていると評価している。一方で、教員は、家庭学習とキャリア教育が推進できていないと危機感を抱いている。明確な課題が浮き彫りとなったため、今後改善していく。
	学習指導・教育課程	わかりやすい授業を行っている	99%	88%	96%	
		家庭学習の習慣が身に付いている	94%	73%	68%	
	キャリア教育	将来の自立に向けて適切に指導している	85%	64%	82%	
		長崎のまちや自分の住んでいる地域が好きである	93%			

健やかな体	保健・衛生	衛生管理に努め、健康に関する教育を行っている	92%	88%	89%	コロナ禍ではなくなっても、健康に関する教育を疎かにしないように、保健主事、養護教諭等を中心に対応してきた。児童の評価に比べ、教職員、保護者の評価が低下している。今後も指導を継続していく必要がある。食に関する指導については、栄養教諭が食育指導を行ったり、給食委員会が啓発したりした結果、三者の評価が高くなっている。
	体力向上	早寝・早起き・朝ごはん(基本的生活習慣)が身に付いている	8%	81%	75%	
		体力向上に努めている	85%	85%	75%	
	食育	食に関する教育活動を行っている	90%	94%	96%	
信頼される学校	安全管理	児童生徒の安全に気を配っている	97%	90%	93%	秋に開催した「はばたき感謝祭」等において、地域や育友会との連携が取れているという肯定的評価が維持されたしたと考えられる。持続可能な行事となるように、運営方法等を考えていく必要がある。情報提供については、担任による通信や学校長による学校便りで伝えることができた。
	情報提供	学校の状況は通信やHP等で知ることができる	89%	89%	97%	
	PTA・地域との連携	学校はPTAや地域との連携がとれている	59%	89%	97%	
	職員資質向上	研修が充実し、資質が向上している			100%	
教育環境	環境整備	教育環境が充実し、整備されている	96%	87%	85%	次年度、学級数が増加し、今まで以上にタイトな教室配置が予想される。教育環境が通常教室に劣らないようにしていく必要がある。職場環境については、今年度の経験を生かし、働きやすい職場づくりをもっと計画的に進めていきたい。
	職場環境	学校は働きやすい職場づくりに積極的に取り組んでいる			74%	

5 自己評価のまとめ(成果・課題・対策等)

＜成果と課題＞
・保護者の評価は、昨年度とほぼ同等の項目が多い。一方で、児童の評価はどの項目においても大きく上昇している。児童の実感が伴う教育活動を実施している成果の表れであるといえる。
・教職員の評価については、校務分掌に関連する項目の評価がよくなっている。校務の担当を明確にすることで働きがいや働きやすい職場環境づくりを、今後も、管理職、職員が団結してつくりだすことで、よりよい効果を生み出していくと思う。懸念されることとしては、生活指導上の問題が多く、児童や保護者の対応に疲弊している職員もいる。「チーム学校」として組織的に対応していきたい。
＜対策＞
日課の変更や行事の精選などにより、働きがい改革を推進していく。少しでも教職員が余裕を持てるようにして、個に応じた指導の充実を図っていきたい。また、学校サポーターや支援員の力を借りながらICT活用もさらに進めていきたい。

6 学校関係者評価

・朝、挨拶をする児童が増えた。
・夏祭りの太鼓参加や「もうすぐ1年生集まれ」のヘボランティア参加など、地域行事への児童参加があり、うれしかった。
・学校便り、学級通信、授業参観の回数が増えるとより学校のことがわかると思う。
・学校ＨＰをＬＩＮＥでのホームページにして、はばたき農園活動の様子なども載せることができないか。
・はばたき農園活動の意義の一つに「保護者同士の親睦を図る」こともある。保護者の方に、育友会活動に参加していただいて、はばたき農園活動で交流の輪を広げてほしい。
・豊洋台地区と光風台地区でのあいさつ見守り活動を育成協なども協力して、広げていきたい。

7 対策等の見直し(学校関係者評価を受けて)

・朝のあいさつを交わす児童が増え、学校全体の雰囲気が明るくなったことは大きな成果である。
・夏祭りの太鼓参加や「もうすぐ1年生集まれ」へのボランティア参加など、地域行事に主体的に関わる児童の姿が多く見られ、地域との絆がさらに深まった。
・学校便り・学級通信・授業参観の充実により、学校の教育活動を保護者に伝える機会が増え、学校理解の促進につなげる。
・学校HPをLINEと連携させるなど、発信手段の改善を検討し、はばたき農園の活動など学校の魅力をより見える化する方向性を確認する。
・はばたき農園活動を、児童の学びだけでなく「保護者の親睦の場」としても位置づけ、育友会と協力しながら交流の輪を広げる機運が高める。
・豊洋台地区・光風台地区でのあいさつ見守り活動を、育成協など地域団体と連携しながら広げる体制づくり。

※「4 自己評価」の「項目」欄には、領域毎に空欄を設定している。ここには、重点目標に即し、学校独自の「評価項目」並びに「質問内容」を追加することができる。
＜参考例＞ 読書活動、豊かな体験活動、部活動 等

※「4 自己評価」のアンケートは、4段階で回答するようになっているが、そのうち上位2段階を肯定的回答ととらえ、その割合(整数値のみ)を集計する。